

平成23年 結果の概況

目 次

I 品目別支出の状況

1 東日本大震災による影響が見られた品目	
(1) 宿泊料	1
(2) パック旅行費（国内）	3
(3) パック旅行費（外国）	5
2 地上デジタルテレビ放送への移行に関する品目	
(1) テレビ	7
(2) デジタル放送チューナー・アンテナ	9
(3) ビデオデッキ（DVDレコーダー・プレーヤーなどを含む）	11
3 エコポイント対象商品が含まれる品目（テレビを除く）	
(1) エアコンディショナ	13
(2) 冷蔵庫	15

II インターネットを利用した支出の状況

1 概要	
インターネットを利用した支出総額は9年連続の増加	17
2 世帯主の年齢階級別	
インターネットを利用した支出総額が最も多いのは30～39歳の世帯	18
3 世帯主の勤めか自営かの別	
インターネットを利用した支出総額が最も多いのは会社などの役員の世帯	19
4 年間収入階級別	
年間収入階級1250万円以上の世帯ではインターネットを利用した支出総額は10,000円を超える	20
5 世帯人員別	
インターネットを利用した支出総額が最も多いのは世帯人員が5人の世帯	21

Ⅲ 電子マネーの保有・利用状況

1 概要

(1) 電子マネーの保有割合が最も高いのは関東地方 22

(2) 電子マネーの利用回数が最も多いのは交通機関（定期券としての利用は除く） 23

2 世帯主の年齢階級別

(1) 電子マネーの保有割合が最も高いのは40～49歳の世帯 24

(2) 電子マネーの利用割合が最も高いのは40～49歳の世帯 25

3 世帯主の勤めか自営かの別

(1) 電子マネーの保有割合が最も高いのは会社などの役員の世帯 26

(2) 電子マネーの利用割合が最も高いのは会社などの役員の世帯 27

4 年間収入階級別

(1) 年間収入階級800万円以上の世帯では電子マネーの保有割合は50%を超える 28

(2) 年間収入階級1000万円以上の世帯では電子マネーの利用割合は50%を超える 29

Ⅳ ポイントカード等の保有・利用状況

1 概要

(1) ポイントカード等の保有割合が最も高いのは北海道地方 30

(2) ポイントで交換したもので最も多いのは食品（飲料含む） 31

2 世帯主の年齢階級別

(1) ポイントカード等の保有割合が最も高いのは40～49歳の世帯 32

(2) ポイントを交換した金額が最も多いのは30歳未満の世帯 33

3 世帯主の勤めか自営かの別

(1) ポイントカード等の保有割合が最も高いのは会社などの役員の世帯 34

(2) ポイントを交換した金額が最も多いのは会社などの役員の世帯 35

4 年間収入階級別

(1) 年間収入階級500万円以上の世帯ではポイントの保有割合は80%を超える 36

(2) 年間収入階級2000万円以上の世帯ではポイントを交換した金額は10,000円を超える 37